

学校祭のごみを減らそう

ねらい・目的



学校祭で、教室や校舎内の装飾に使われる段ボールや、模擬店で使用する紙皿などのリデュース、リユース、リサイクルを実践することで、省資源、ごみ減量に対する意識を高めます。

取り組みの背景として



学校祭では、装飾に段ボールやスズランテープ、木材やペンキなどのいろいろな材料が使われています。そのため、片付け時に分別が難しく、多量のごみとして処分される傾向があります。模擬店で使用される紙コップや紙皿等も、燃やせるごみとして処理されているのが実情です。

このままだと

学校祭などのイベントの時には、ごみは分別しなくていいという特例を設ける形になってしまい、普段のごみ分別に対して悪影響があります。

だから

学校祭全体で環境に配慮し、ごみの分別をすることでごみ減量ができるような環境を作ります。

取り組み項目(実施方法)



1. 学校祭のテーマ設定、キャラクターの募集
2. 「環境宣言」の掲示
3. 生分解性プラスチックでできた食器の利用
4. ごみ減量、使用済み資材のリユース

取り組み1 学校祭テーマの設定、キャラクターの募集

- ・学校祭のテーマに「環境、ごみ減量」にかかわる項目を含めるよう指導します。
- ・環境キャラクターの募集。学校祭期間のキャラクターとして使用します。

ポイント

- ・生徒のアイデアを取り入れます。
- ・学校祭や普段の活動にキャラクターを利用します。



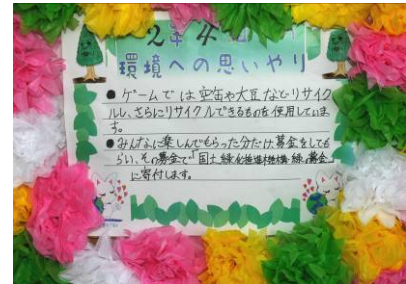
良い作品は校外にも発表できます。*

取り組み2 「環境宣言」の掲示

- ・各クラスで環境に配慮する取り組みを検討し、環境宣言を作成します。
- ・クラス発表時に環境宣言に沿って、取り組んだことを掲示します。

ポイント

- ・クラス発表の内容と宣言を評価して、「環境特別賞」を与えると士気が高まります。



エコライフレポートとの連動もできます。

取り組み3 生分解性プラスチックでできた食器の利用

ポイント

- ・模擬店での分別回収の徹底が、資源の有効利用につながることを実感します。



実際にエコトレイが堆肥になる様子を観察、体験できます。

取り組み4

ごみ減量、使用済み資材のリユース

- ・片付けに充分時間をとり、木材に打ち付けたくぎなども全部取り除いて分別する。
- ・「リサイクルステーション」を設けて、木材、ペイントの残りや刷毛、カッターナイフなどの道具類、翌年使えるようなものは生徒会の倉庫に納め、リユースに回す。

ポイント

- ・リサイクルステーションの運営例（下図）

平成 19(2007)年 7月 10日 環境実行委員会

学校祭後片付けリサイクルステーションの設置について

1. 内 容
学校祭の後片付けの際に「リサイクルステーション」を設置の上、「まだ使える物」の回収に努め、再利用を促進する。

2. 目 的

- ① ゴミを捨てる際に、「まだ使える物」を意識させ、資源を大切にすることを育む。
- ② イベント実施から終了までの経過の中、自分たちが活用した物がどのような流れで処理されるのかを学ぶことにより、普段の生活の中で物を「捨てる」際に、「捨てた後」を意識できる心を育む。
- ③ 学校祭終了時において、生徒一人ひとりが実践することで、イベントを完了したという達成感を味わう。

3. 詳 細

(1) 回収する品目

【小物系】

a. ボールペン・油性ペン・マーカーペンなど	・・・ペン類
b. ペンキハケ・絵の具筆など	・・・塗ハケ類
c. 残ったペンキ（色が混ざっていない物）・絵の具など	・・・塗 料類
d. ハサミ・カッターなど	・・・小刃物類
e. 定規・メジャー・電卓など	・・・計測器類
f. のり・ボンド・セメダインなど	・・・接着剤類
g. パケツ・絵の具パケツ・たらい・洗面器など	・・・容 器類
h. セロハンテープ・スランテープ・ガムテープなど	・・・テープ類
i. スプーン・フォーク・皿など	・・・食 器 類
j. 紙皿・紙コップ・使い捨てフォーク・スプーンなど	・・・使い捨て食器類
k. CD・MD・カステネット・マラカスなど	・・・楽器類

【大物系】

1. ビニールシート・レジャーシート・巻段・Iチャックなど・・・シート類
- m. 材木・たる木・足場材（接合具含む）など・・・支柱類

【その他】

- n. その他分類不明だが再利用が見込める物
・・・担当教員に相談し担当教員が判断する。
その際できるだけリサイクルできるような努める。

(2) 回収方法

ア) リサイクルステーション設置場所

イ) リサイクルステーション運営について

- ① 回収箱設置（作成 生徒会）
- ② テントブルーシート設置（設置 担当者）
- ③ 運営・リサイクル指導（担当者）
- ④ 回収後運搬先→生徒会倉庫（担当者と生徒会執行部・その他応援）

(3) 担当者・担当業務について

- ① 環境プロジェクト委員会の副担任を中心とした組織で企画・立案・指導運営を行う。
- ② 必要に応じ各分掌・生徒に協力要請を行う。

取り組み効果

効果 1 環境にやさしい学校祭の実施

ごみの分別や、装飾の素材をリユースできるものに換えたり、実際にリユースすることによって、環境保全や、ごみの分別に対する意識を高める。

効果 2 学校祭終了後のごみ減量

ごみ減量の例として札幌藻岩高校では、

環境学校祭実施前のごみの量 2005年度(平成17年度) 77.7m³に対し

環境学校祭初年度 ごみの量 2006年度(平成18年度) 69.0m³

2年目 ごみの量 2007年度(平成19年度) 65.0m³ であった。



■Sapporo エコライフ実践校の取り組み（中学・高校編）

環境 ISO を含め、全校的な環境配慮の取り組みを推進する。

■「ごみ」と「資源」の再発見（家庭・地域・職場編）

地域ぐるみで集団資源回収などのごみ減量に取り組み、行動を定着させる。